# 全校登山日記(北岳編)

全校登山の様子をほんの少しですが、撮影した写真を交えてお伝えします。

## 全校登山前日

天気予報では、全校登山当日については、 降水確率は高かったものの、降水量はそれ ほどでもなく、パラパラ降る程度かな?と 考えていました。もちろん、専門家(登山支 援者)の意見も聞いた上で、登山決行を決 めました。

結団式で披露した「登山旗」です。北 岳頂上で,掲げる予定でしたが…。



# 全校登山1日目

ところが・・・・!

広河原インフォメーションセンターに到着して みると、土砂降りの雨に雷鳴も轟いていまし た。前日よりも、梅雨前線が南下した影響のよ うです。ただでも、山の天気は不安定なのに。

先月下旬に参加した開山祭では、くっきり見えていた周囲の山の稜線も全く見えず…。この天候は、まさに、想定外でした!



とりあえず,入山式をして,天候の回復を 待つことにしました。ただ,出発時間を遅ら せることは,登山全体の行程に影響が出ま す。北岳山頂部の様子や生徒の体力面等を 考えた結果,今回は,北岳登頂を断念し,白 根御池小屋を宿泊場所に変更することに決



めました。約3時間後,雨が小康状態となりました。午前9時,全員万全な雨対策をして,2 班に分かれて登山に出発。









写真ではわかりづらいと思いますが、かなり 急な登山道を歩いています。このような登山道 を歩き続けるので、生徒の体調や休憩場所の確 保等を考え、2つの班に分かれて行動しました。



2時間ほど登り進めると、周りの山々も見えてきました。 写真は、昨年度の全校登山で登った「鳳凰山」です。矢印の山は、昨年度、登山旗を掲げた観音岳です。

### 【白根御池小屋での様子】







午後1時頃、宿泊場所である白根御池小屋に 到着。(写真は、下見の時に撮影したものです) 名前の通り、「白根御池」が確かにありました。





小屋に到着後,各々が用意したお弁当を食べました。芦安 FC からはアイスクリームの差し入れもいただきました。今回,天候不順で屋外活動が制限されたこともあり,室内で過ごす時間が増えました。体を休めたり,ミーティング等に充てたりすることができました。難易度の高いパズルを完成させた生徒もいました。

白根御池小屋西側には、北岳に通じる登山道「草すべりコース」(矢印)があります。このコースを登る計画でした。





# 全校登山 2 日目

## 【雪渓見学の様子】



前日は午後5時夕食,午後8時消灯。 この日は,午前5時朝食。この時点では,まだ雨が降っていました。天気予報では,午前8時頃,雨が上がるということで,白根御池小屋周辺の散策(大樺沢二俣の雪渓見学)に出かけることにしました。(写真の場所です)登山旗を掲げた集合写真は,白根御池小屋で撮影したものです。











雪渓見学後,早めの昼食(午前10時)をとり,下山の準備をしました。約1日過ごした白根御池小屋の皆さんにお礼をした後,午前11時,前日登ってきた登山道を引き返しました。登山では,くだりの方が足への負担も多く,けがにつながることが多いそうです。支援者の皆さんも,そのことをよく承知の上で,生徒たちを先導してくれました。

## 【下山式の様子】



下山すること約3時間,午後2時前には,前日に登山を開始した広河原インフォメーションセンターに着きました。前日同様に,相変わらず,北岳は見えず…。北岳を目指した今回の登山では,最後まで北岳とは縁がなかったようです…。

インフォメーションセンターにて,下山 式を行い,今回の全校登山を締めくく りました。今回は,参加した生徒全員が 1泊2日という時間を共有し,無事に活 動できたことが一番の成果ではなかっ たかと感じています。





今回の急な行程変更にあたり、登山支援者、支援団体である芦安 FC、北岳・肩の小屋、白根御池小屋等、さまざまな方々の、芦安中全校登山に対するご理解とご協力があったこともお伝えしておきます。

#### おまけです!

晴天であれば・・・,ここからは,全校登山下見時の写真をご覧ください。白根御池小屋から北岳登頂の様子です。





草すべりコースを登ること約3時間。北岳の稜線に出ます。このコースは登っても登っても,先が見えない登山道でした。白枠の中に,広河原山荘が見えます。

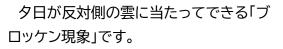




稜線に出ると、一気に視界が開けます。仙丈岳もはっきり見えます。(右の写真)



本来宿泊する予定だった北岳・肩の小 屋です。







午前4時30分, 鳳凰山の向こう側に見える朝日です。この朝日を見るだけでも, 北岳に登る価値はあるような気がします。

鳳凰山から右側に目を 移すと、日本の最高峰・富 士山が見えます。日本第2 位の山から、日本一の山 を望むと、このように見え るのですね。





こちらは、肩の小屋から1時間ほどかけて登った北岳頂上から撮影した、北アルプス(飛騨山脈)と中央アルプス(木曽山脈)の山々です。北岳を含む南アルプス(赤石山脈)と合わせて、日本アルプス(日本の屋根)と呼ばれていますね。

肩の小屋からも、広河原山荘が見えるのです。(写真の白丸) すぐそこのように見えますが、下見の時には、約6時間30分かけて下山しました。





白根御池小屋に向かう 下山途中に見えた,北岳・ バットレス部分(北岳東面 の大岩壁)です。生徒が開 山祭で披露した「北岳の 唄」にも,「今ぞ 目指すは バットレス」とあります。

以上をもちまして,「全校登山日記」を綴じます。最後まで読んでいただき,誠にありがとうございました。 芦安中